

あしたのために

四日市市立朝明中学校
3年生学年通信
平成30年5月31日(木)
その18 文責(浅野)



旅から学ぶこと

～旅をするのは帰る家があるからだ。 さすらいの旅ほど淋しいものはない。～

これは長渕剛さんの歌「ガンジス」の歌詞の一部です。この曲は題名の通りインドの母なる大河ガンジスを歌ったもので、ガンジス川の有名な聖地バナラシ(ベナレス)の川沿いで作曲したとか。この「ガンジス」の歌は10分ぐらいの長い曲です。このフレーズに色々と思う旅人も多いそうです。なかなか旅の本質をうまくついているのです。ということなのでしょうか？

旅の本質は現実逃避なので、家(日常生活範囲)から一時的に離れ、日常生活に束縛されない行為が旅といえます。だから旅は日常とかけ離れた浮世絵物語のように楽しくもあり、旅に出るとまだ家に帰りたくない、まだ旅を続けていたいと思う程楽しく時間が過ぎるものです。そしていざ家に帰る時間が迫ってくると、家に帰る事で楽しい思い出が花火のように消えてしまうような感じがして寂しく感じるものです。帰路に着く前のもとても切なく、夢よ覚めないでというような感覚は身に覚えがあるのではないのでしょうか。今、まさにみんなの状況なのではないですか？へろへろになって帰宅した時の安堵感というか、やっと終わったんだといった充実感というか、ある意味やっと家に帰れる・・・といった感じでしょうか。そして「もし家がなかったら・・・」と考えると、帰る場所があるというのはなんて幸せなんだろう、帰る場所があるからこそ頑張れたんだ。もし帰る場所がなかったらどんなに寂しい思いをする事だろうかと考えてしまいます。もちろんこれは旅に限らず日常でも、授業やクラブがきつかった日に家路に戻る時の安堵感なども似たような感じかもしれません。「家に帰るまでが旅行です」とよく言います。「家に帰るまで、家にたどり着くまで気を引き締めて事故のないように・・・」といった意味ですね。旅行は家を出て家に帰るまでなんだよとさりげなく、そして簡潔に旅の本質を述べている言葉であったりもします。旅とは旅先で新天地を見つけるまで、そして家に帰るまでは終わらないのです。そして家に帰ると同時に脱日常の楽しい状態が終わり、再び新しい日常が始まるのです。ある意味この言葉はもの凄く重みがあるなと思ったりもします。

待ってけている家族にまずは無事に帰った報告をしましたよね。そこで旅の締めくくりとなるのです。さらにそれが、何よりも大きな家族へのお土産なのです。

新しい日常が始まった今、何をすべきなのか一人ひとりがよく考え、修学旅行で得た力をこれからの生活の活力としていくのです。この切り替えが「旅」の意味でもあるのですね。さあ、まずは実力テスト！

受験生のみんなに贈る有名人の名言集 13 2019年度公立高校後期選抜入試まで 285日/卒業まで 152日

"The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy."

訳「夢をかなえる秘訣は、4つの「C」に集約される。それは、「好奇心」「自信」「勇気」そして「継続」である。」これは、米国のエンターテイナー、プロデューサー、実業家、ミッキー・マウスの生みの親であるウォルト・ディズニーの言葉。この4つの「C」は修学旅行で誰もが経験したはず。何事もまずは好奇心を持ち、自信と勇気を持てるような努力を継続させていくことだ！285日をどのように過ごす？

✓CHECK be summarized in 「～に集約される」

＜保護者の皆様＞

修学旅行準備から送迎まで、ご協力ありがとうございました。3日間ほぼ、時間通りに活動することができ、大きな事故やけがもなく、無事に帰ってくることができました。特に「家族からの手紙」の取り組みでは、大変お忙しい中、ご準備くださりありがとうございました。当日は各部屋をまわり、一人ひとりに手渡ししていきました。驚く生徒や「あ～やっぱり」と言いながら照れくさそうにしている生徒など、全員が暖かい手紙に感動し、喜んでいました。中には涙する生徒もいました。本当にありがとうございました。

東京で全員が書いた家族への返信はがき(ポストカード)は、下田貴大先生が、スカイツリーポストに投函いたしました。無事に届きましたでしょうか・・・





鳩ぼっぼの句碑

見つけること、できましたか？宿題になっていたことすら忘れていた人も多いようですね。

隅田川の説明もガイドさんからありましたよね。「花」みんなで歌いましたか？ちなみに2組のバスでは、しっかりと歌っていましたよ。ガイドさんに誉められてました…

修学旅行解散式（司会：藤本虹輝）

今回の修学旅行では実行委員会（室長）が中心となって、クラスをまとめてくれました。解散式では3日間を通しての反省点や成長点を、各クラスから発表してもらいました。もう一度、一人ひとりがよく読み今後の生活に生かしていきたいものです。



1組 1日目は「点呼が遅い」「私語が多い」「班員を座らせるのが遅い」という反省があった。2日目は「必修見学地に遅れた班があった」「体調が悪くなった人に気付くのが遅れた」など。3日目は「買い物をしはけない所で買い物をしてしまった班があった」です。しかし3日間とも点呼は時間を守っていた。この調子で時間を守っていききたい。（日高結夢）

2組 1日目はみんなが緊張感を持ち、時間通りに進められることができた。新幹線の乗り降りも遅れることなくできたので良かった。2日目の班別分散学習では予定通りの時間内に帰って来れなかった班もあったが、大半の班は協力し合って予定通りに行動することができていた。3日目は少し疲れが出て、列についていけなかったり、私語が見られたが、班長などが声をかけてくれたおかげで事故なく安全に帰ってくることができた。今回の修学旅行を通して、協力することの大切さや相手を思いやる気持ちを知ることができた。東京でしか学べないたくさんの事に触れることができてとてもいい経験になった。（吉原涼雅）

3組 1日目はすぐに集合できない、うるさくて指示が通らない、時間ギリギリの人がいた、などの反省点があった。2日目は予定とずれても対応して動くことができた。必修見学地に遅れてしまう班があったこと。3日目は時間通りに点呼ができ、遅れることがなかった。帰りの新幹線では少しつまったりしたが、全員乗ることができた。3日間を通して多くの班が時間を守って行動できていた。この調子で、学校生活でも時間を守って行動していきたい。（山下智暉）

4組 今回の修学旅行では、人ごみの中で迷子になったりして、時間に余裕が持てず、集合時間ギリギリになって集合場所に着く班が多かった。また、A隊形になって目的地へ移動している時に、友だちと話したために他の班へ行ったり、横に広がったりしている人もいた。この3日間を通して、バスや新幹線ではみんなゲームや話をしたりして、みんなで仲良くなることができた。そして班別分散学習では、班で協力できたので絆や団結力を深めることができた。今回出た反省は、一人ひとりが勝手な行動をすることで全体に迷惑をかけるということ。今後は意識し、自覚を持った行動をしなくてはいけない。修学旅行を通して、協力することや、人のことを考えて行動するという当たり前のことを再度学んだ。今後の学校生活に生かしていきたい。（伊藤詩乃）

5組 反省点は静かにしなければならない所でうるさかったり、集合時間がギリギリだったこと。これらの反省点は周りをよく見て、時間を気にしながら行動していけたら改善される。良かった点は全員が楽しめたこと、バスの運転手さんとガイドさんにきちんと挨拶ができたこと。また、前が速くなったら小走りになったりと、前の人との間隔を気にしていたところ。そのため、駅での行動は素早かったと思う。今回の修学旅行で良かったところはそのまま続けて、反省点はみんなで声をかけ合って直していけるようにしたい。（古市賀子）

全体 今回の修学旅行は時間にルーズになっていたり、私語が多いことが目立ったことが反省点。良い事は絆や団結力が深まったこと。これは後々の学校生活においてもとても重要なことなのでこれからもっと団結力を高めていきたい。物事に反省はつきものであり、反省を反省で終わらせず、各クラスの室長が言っていたことを胸に刻み、これからの学校生活をより良いものとしていきたい。（久保浩誠）